

iCサイエンスフィールドワーク企業訪問研修

12月14日(水)の午後に、iCサイエンスフィールドワークの企業訪問研修を行いました。この研修では、理数科1年生が「岡山大学資源植物科学研究所」、「川崎医科大学現代医学教育博物館」、「株式会社岡山村田製作所」、「株式会社林原藤崎研究所、岡山第一工場」、「ナカシマプロペラ株式会社、帝人ナカシマメディカル株式会社」、「萩原工業株式会社」を訪問しました。

研修当日までに、iCサイエンスフィールドワークの授業で、訪問先の企業について調べ、学びたいこと・聞いてみたいことを整理しました。事後の報告会では、訪問先が違うメンバーで班をつくり、それぞれの研修内容について共有しました。

<資源植物科学研究所>



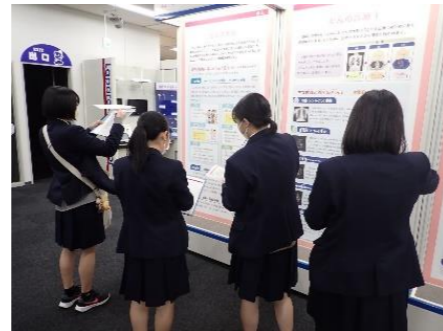
<村田製作所>



<ナカシマプロペラ>



<現代医学教育博物館>



<林原研究所>



<萩原工業>



<生徒の感想>

<資源植物科学研究所>

研究は早かったら数ヶ月、長かったら数十年単位で時間がかかることや、昔の科学の資料を収集することは、科学の歴史を知ることにつながることで、研究ノートは実験を再現できるようにとても細かく書くことなどがわかった。実際に研究所に行くことで、実験がどのようなものであるか、実験をする環境がどのようなものであるかなどを自分の目で見てることができて良かった。また、外国の方が日本人と同程度いたことから、科学が国境を超えたものであると実感し、すごいと思った。

<現代医学教育博物館>

現代医療がどのようなものなのかわからなかったが、大学での実習の仕方や、最先端の医療技術を理解することができた。自分の目的をしっかりと持って、企業訪問に行き、理解を深めることができた。一般公開されていないエリアに入って、標本を見ることができて、現代医療についてさらに関心が高まった。

<村田製作所>

村田製作所ではスマートフォンなどの電子機器に使われている精密機械を作っている企業だと知った。また、営業をしていく上で利益を考えていくことが大切だと分かった。自分たちが訪問する企業はどのようなところであるのかや、何を作っているのかを事前に調べておき、質問を考えてその疑問を解決するために見学や訪問先の意見を聞くことは面白いと感じた。

<林原研究所>

トレハロースが主力商品であることがわかった。また、実際に売られている商品の材料を見たときにやりがいを感じるというところにとっても関心を持った。自分がこれから先どうしていくべきかを考えさせられるような活動でした。

<ナカシマプロペラ>

実際に具体的な企業の概要について、紹介されてしっかり意図を掴み取ることができた。また、工場内を見学して、どのような工程でプロペラが作られているのかなどが身をもって理解することができた。実際に企業に訪れる機会は非常に少ないため、こういった機会ですっきり考えを深めることができてよかった。

<萩原工業>

萩原工業がフラットヤーン技術を考えて、初めてブルーシートを作った会社だと初めて知りました。また国内シェアも90%でTarpeeという個人ブランドを作り更に良い品質の商品を出そうとしました。またSDGsの取り組みもしていて、エコマークももらっているそうです。僕は今回の企業訪問を終えて、自分たちが作ったフラットヤーン技術をあえて広めても自分たちが利益を得られるし、どこの会社にも負けないというプライドがとてもすごいと感じました。どんな会社や仕事につかわからないけれども、自分のしていることに自身を持ち、更に良いものを作っていこうと思いました。